

連盟会報

発行日：2016（平成28年）8月11日

発行：NPO法人 日本抜刀道連盟

企画・構成・編集：広報部

…事務局… 〒130-0026

東京都墨田区両国 2-21-5 両国ダイコンプラザ802号

☎：03-3631-5851 FAX：03-3631-5852

第1回 抜刀道東京大会…成功裡に終わる



…◆絆と連帯◆…
平成28年度 第1回 抜刀道東京大会
平成28年7月9日 於：東京武道館 第二武道場

◆集合写真提供：保泉正夫 連盟専属写真家◆



範士

開会激励挨拶をする
大江正男 大会会長

◆競技出場選手◆

■ 初段 以下 出場選手（13名）

飯田 敏晃（川崎支部）。巧力 一好（川崎支部）。植村 宏司（川崎支部）。佐々木 伸（山形支部）
植田 菜衣子（東京道場）。木下 全雄（鎌倉支部）。宇塚 拓人（尚武館）。久保 要（東京英信会）
ヨランダ・ゴレッツ（剣誠会）。庄司 一憲（土成会）。小倉 雅志（土成会）
水村 光治（埼玉支部）。羽染 博道（埼玉武蔵会）

■ 2段・3段 出場選手（17名）

黒田 了光（山形支部）。富川 仁（川崎支部）。板橋 宣孝（川崎支部）。山口 達弘（東京道場）
田村 悟（川崎支部）。鈴木 洋一郎（鎌倉支部）。齋藤 亮一（鎌倉支部）。小林 昭夫（鎌倉支部）
今永 岩男（大阪支部）。大塚 晋二（東京英信会）。酒井 康光（土成会）。山下 秀造（土成会）
甲野ルリ子（土成会）。伊藤 仁（秩父支部）。本橋 忠雄（埼玉支部）。植山 孝明（埼玉武蔵会）
岩本 典之（埼玉武蔵会）

■ 4段・5段 出場選手（24名）

詫摩 哲郎（川崎支部）。高橋 道夫（川崎支部）。塩原 斉（川崎支部）。柴田 輝久（東京道場）
濱田 定昭（高知支部）。浦井一彦（笠間洗心館）。小林 克巳（尚武館）。長畑 卓治（大阪支部）
藤原 弘通（八千代支部）。ベンジャミン・ジョーダン（和道会）。成田 英右（東京英信会）
藤田 僚（東京英信会）。長野 宏治（土成会）。関口 英治（秩父支部）。深川 哲雄（埼玉支部）
岩崎 進（埼玉支部）。関原 勝（埼玉支部）。軽部 慎也（山形支部）。猪股 武士（埼玉武蔵会）
山口 博（英信会）。城谷 光俊（埼玉武蔵会）。小林 敦（埼玉武蔵会）。平川 政博（埼玉武蔵会）
治部 昭（埼玉武蔵会）

■ 6段・7段 出場選手（7名）

細川 隆（高知支部）。境 泰雅（高知支部）。今村 文彦（高知支部）。岡本 光正（東京英信会）
藤田 久男（剣誠会）。佐藤 淳一（山形支部）。佐藤 敬子（川崎支部）

◆団体戦◆

（先鋒）（中堅）（大将）
川崎支部 高橋 道夫・富川 仁・田村 悟
東京道場 植田 菜衣子・山口 達弘・柴田 輝久
山形支部 佐々木 伸・軽部 慎也・黒田 了光
鎌倉支部 木下 全雄・鈴木 洋一郎・齋藤 亮一

◆団体戦◆

（先鋒）（中堅）（大将）
東京英信 成田 英右・藤田 僚・大塚 晋二
土成会 庄司 一憲・山下 秀造・長野 宏治
埼玉支部 関原 勝・深川 哲雄・岩崎 進
武蔵会 羽染 博道・岩本 典之・植山 孝明

◆本部役員◆

大江 正男 連盟会長。中世古 勝司 相談役。中島 正夫 副会長。
菅野 茂 事務局長。大塚 光男 教務部長。遠藤 仁 教務次長。
太田 丈夫（笠間洗心館支部長）。森山 進（水戸支部長）。保泉 正夫（連盟専属写真家）。

開会式では、冒頭に「平成二十八年度本連盟、第一回抜刀道東京大会の
開会を宣言する」との、
中島 正夫 大会実行委員長
から高らかに力強い開会の
宣言がなされた。

続いて国旗に拝礼。
国家斉唱の後：

大江 正男 大会会長
より「この東京武道
館での大会の開催は
初めてであるが日頃
初めでの大会の開催
錬磨した成果を十分
に発揮して、さらに
全国大会に向かつて
頑張るべき」と
会場での設営・撤去
に際しても皆さんの
協力が無事成功の
でこの大会を成功
せよう！との挨拶が
あった。

温暖化の影響か：全国的に大気不安定の全線が暴れ回り「猛暑・豪雨」が
続く中、運よく快晴に恵まれた、去る七月九日（土曜）の東京…
常任理事会承認連盟本部主催：全国大会への準備としての、第一回の
抜刀道東京大会が東京武道館に於いて小規模ながら盛会に開催された。

今回の東京大会の大きな特長は、競技中の事故を未然
に防ぎ、選手を事故から守る為の、本連盟安全管理体制
構築構想に基づく、十名の巡回「安全管理者」が誕生し
活躍。競技は、無事故で予定通り閉会式を迎えた。
なお、開会式等々大会進行の司会は、大会開催の裏で
孤軍奮闘し成功に導いた菅野 茂 事務局長が務めた。

続いて大塚光男審判長から競技審判上の注意があり：
宣誓は、柴田輝久（東京道場）選手が凛々しく行い、大塚光男
教務部長の「露払いの」後、競技へと進んだ。

連盟会員の事故を未然に防ぐ
…連盟精鋭「巡回…安全管理者」記章着用の横顔…

安全管理者 ◆認定記章◆
Designed by 連盟本部 広報部長



抜刀道修練 連盟『安全管理体制』構築 …抜刀道界初の具体的な組織確立…

▼ 本連盟として「稽古・試合・審査・演武」等々に於ける『絶対安全の確保・維持』が『抜刀道存続の生命線』となるとの、認識の基に「安全確保・管理体制」を構築し、真剣を使用する際の、連盟会員の『自傷・他傷』の危険性を排除し、不慮の事故を未然に防ぐ為の安全管理体制を確立した。
▼ よって、ここに紹介する『安全管理者・認定記章』を着用した、皆さんの仲間である『安全管理者』が巡回してしますのでご協力を願います。

「連盟会長」



- 軽部 慎也(山形 支部) 中島 正夫 副会長 大江 正男 連盟会長 中世古 勝司 相談役 菅野 茂 事務局長 柴田 輝久(東京 場)
- ◆前列(左)から◆
田村 悟(川崎 支部) 成田 英右(東京英信会) 藤原 弘通(八千代支部) 浦井 一彦(笠間洗心館) 平川 政博(埼玉武蔵会) 小林 昭夫(鎌倉 支部) 酒井 康充(土成会) 長畑 卓治(大阪 支部)
- ◆後列(左)から◆



…開会と 競技…

◆露払い◆
大塚光男 教務部長



選守の安を守る ◆刀剣検査◆
境 佐藤 淳一(山形支部副総) 泰雅(高知 支部長)

安全・準備委員で活躍する
浦井一彦(笠間洗心館)



◆大会の陰を支える“準備委員”の雄姿と横顔◆



- （シヤミン）シヨタン（和道会）
- 柴田 輝久（東京道場）
 - 猪膝 武士（埼玉武蔵会）
 - 平川 政博（埼玉武蔵会）
 - 進行委員長 菅野 茂
 - 治部 照（埼玉武蔵会）
 - 大会実行委員長 中島 正夫
 - 田村 悟（川崎支部）
 - 酒井 康充（土成会）
 - 準備総括責任者 藤田 久男
 - 庄司 一憲（土成会）
 - 山口 達弘（東京道場）
 - 浦井 一彦（笠間洗心館）

：お暑い中を：ご苦勞様：

選手が試斬する、一本の巻藁…。会場の「設営・器材」の準備には、出場選手を迎える為の陰に、誰もが気づかぬ我々の仲間《準備委員》のご苦勞が隠されている。

今回の東京大会では、一六六本の巻藁が準備されたが競技の公平に配慮し：①漬け込み三日を厳守：七二時間に統一。

②太さ・巻き方と、止めゴムの位置統一。③畳み漬け匂い対策。④巻藁搬入・撤去時の廊下への水こぼれ防止等々…。

緻密細心な指導と確認が：準備総責任者 藤田久男（鎌七楼）により行われ、正に「絆と連帯」の心意気で本大会を成功へと導いた。準備委員の皆さんに：ご苦勞さん！…と選手一同、感謝の拍手をおくりたい。

〔本部 広報部〕



搬入時館内を汚さぬ様にと長さ88cmの畳み藁は農家のゴボウ入れ、ビニ袋に2本づつ入れ整然と運ばれた…。

個人戦《形・実技》の部（初段～5段）

| 制定刀法・形・個人戦 | | |
|----------------------|----------------|---------------|
| 初段以下 | 二・三段 | 四・五段 |
| 優勝 宇塚 拓人 さいたま武蔵支部 | 田村 悟 川崎支部 | 関原 勝 埼玉支部 |
| 準優勝 久保 要 東京英信会支部 | 山下 秀造 土成会支部 | 高橋 道夫 川崎支部 |
| 功刀 一好 川崎支部 | 酒井 康充 土成会支部 | 濱田 定昭 高知支部 |
| 三位 庄司 一憲 土成会支部 | 小林 昭夫 鎌倉支部 | 柴田 輝久 東京道場 |



個人戦《形・実技》の部（6段～7段）

| 制定刀法・実技・個人戦 | | |
|------------------------|----------------|------------------|
| 初段以下 | 二・三段 | 四・五段 |
| 優勝 佐々木 伸 山形支部 | 田村 悟 川崎支部 | 柴田 輝久 東京道場 |
| 準優勝 ヨランダ・ゴレッツ 剣誠会支部 | 山下 秀造 土成会支部 | 浦井 一彦 笠間洗心館支部 |
| 功刀 一好 川崎支部 | 小林 昭夫 鎌倉支部 | 濱田 定昭 高知支部 |
| 三位 羽染 博道 埼玉武蔵支部 | 斉藤 亮一 鎌倉支部 | 長畑 卓治 大阪支部 |

：表彰と閉会：
成績発表

| 制定刀法・個人戦 | |
|---------------------|----------------|
| 六・七段 | 六・七段 |
| 優勝 境 泰雅 高知支部 | 境 泰雅 高知支部 |
| 準優勝 藤田 久男 剣誠会支部 | 細川 隆 高知支部 |
| 三位 岡本 光正 東京英信会支部 | 今村 文彦 高知支部 |
| 優秀賞 佐藤 敬子 川崎支部 | 今村 文彦 高知支部 |
| 細川 隆 高知支部 | 藤田 久男 剣誠会支部 |
| 佐藤 淳一 山形支部 | 佐藤 敬子 川崎支部 |
| | 佐藤 淳一 山形支部 |
| 大会委員長 | |
| 二段 田村 悟 川崎支部 | |

| 制定刀法・個人戦 | |
|--------------------|------------------|
| 六・七段 | 六・七段 |
| 優勝 境 泰雅 高知支部 | 境 泰雅 高知支部 |
| 準優勝 細川 隆 高知支部 | 今村 文彦 高知支部 |
| 三位 今村 文彦 高知支部 | 岡本 光正 東京英信会支部 |
| 優秀賞 藤田 久男 剣誠会支部 | 佐藤 敬子 川崎支部 |
| 佐藤 敬子 川崎支部 | 佐藤 淳一 山形支部 |
| 佐藤 淳一 山形支部 | |



団体戦の部

| 制定刀法・団体戦 | | | |
|----------|--------|--------|-------|
| チーム名 | 先鋒 | 中堅 | 大将 |
| 優勝 川崎支部 | 高橋 道夫 | 富川 仁 | 田村 悟 |
| 準優勝 山形支部 | 佐々木 伸 | 軽部 慎也 | 黒田 了光 |
| 東京道場 | 植田 菜衣子 | 山口 達弘 | 柴田 輝久 |
| 鎌倉支部 | 木下 全雄 | 鈴木 洋一郎 | 斉藤 亮一 |



暑中お見舞い
申し上げます。



連盟会長 大江正男

役員一同

■猛暑 夏の陣：

《高段者審査》の
称号審査の実施

熱中猛暑の異常気象が続く、去る八月六日(土曜日)神奈川県立武道館に於いて熱気を吹き飛ばし、高段者・称号審査が行われた。審査結果は左記の通り。

◆審査委員◆

■審査委員長 大江正男 範士九段
中島正夫 範士九段・中世古勝司 範士九段
遠藤仁 範士八段・菅野茂 教士八段



◇高段者審査 受審者◇

〔六段〕三名 〔七段〕一名

◇高段者審査合格者◇

〔七段〕境 泰雅(高知支部)

◇称号審査 合格者◇

〔錬士〕井林 幹明(仙臺支部)

細川 隆(高知支部)

〔教士〕藤田 久男(刈誠会)

今村 文彦(高知支部)

岡本 光正(東京崇信会)

◆編集 後記◆



※ふと気づき…
ここに撮影した一枚のスナップを掲載する…

▼ この一枚のスナップは、選手諸兄が試新した巻ワラの

《残骸》を…、大会終了後に準備委員の手により袋詰めされ、それぞれの自宅に持ち帰り処分する為に集められた巻ワラである…。この作業は、選手諸兄が帰宅した後も、大会会場の撤去作業を行う“委員各位の尊い労”に頭が下がる…。

私の人生観の一つに“菊づくり 菊みるときは 陰の人” と言う大切にしている好きな言葉がある…。

どこの大会でも開催の大小に関係なく、事務局を中心とした、準備・安全・受付・記録・広報・写真等々を含め、その陰に『大会と言う《開花した菊》を支え、その成功を支える』《陰の人達》がいることを、私達は決して忘れてはならない…。

▼ この様な観点から、私達は “一隅を照らすは、これ組織の宝なり” と言う…、感謝の“気持ちと言葉”で、大会実行の“陰で働く関係役員”に、選手一同で大きな拍手をおくりたい…。

▼ 本連盟も創立以来、幾多の《いばらの道》を乗り越え先人の意志を継いで、25年を迎えた。この間、会員相互が『絆と連帯』を旗印に結束…。この度は、日本古来の世界に類のない日本刀を用いて修練する抜刀道から、会員の安全を守る為の組織的な《安全管理者》制度を設立し、東京大会を皮切りに活動するまでに組織的に発展したことは実に素晴らしい…。

▼ この様な背景から…今回の会報は、特に大会と言う『開花した《菊》を咲かす裏方』を中心に《企画・構成・編集》し、私も“陰の一人”として、この年で…老体に鞭を打ちつつ猛暑の中で、徹夜状態を続けながら…、会報46号の“東京大会特集号”と題して…、特別に取りまとめて発行するに至った…。

▼ 私達会員一同は、…連盟会長以下…役員が提唱する“我々が修練する抜刀道”は『斬ることのみに走らず…“我執と慢心”を慎み…、本連盟が誇る“日本武道”の《正統抜刀道》として…、さらに発展させつつ継承し、後世に残そうではないか…。



副会長兼 広報部長
中島 正夫

◆所属支部◆ 川崎支部

◆武道歴◆

※ 錬士 六段

NPO 日本抜刀道連盟

※ 錬士 六段

全日本弓道連盟

◆趣味◆

※ 読書(剣豪小説・刑事小説)

※ アンテークな帯びから刀用の帯びを作ること。

◆座右の銘◆ 継続は力なり…。

◆その他◆

抜刀道の道にまだ15年。未だもって会得出来ないことが山積みの中で失敗ばかりしている…。めげそうになる時《継続は力》と…、自分自身を叱咤激励して、刀を握り直すと言うことの繰り返しの日々…。



佐藤 敬子 (64歳)
連盟本部 監査

大会・講習会等々の会場受付で選手を笑顔で迎え、ここでも、大会と言う大輪の菊を咲かせる為に、その陰で如才なく活躍する本部役員佐藤敬子刺士の姿がある…。

振り返ると、連盟を支える高段女性刺士は三名おり、現在、病床に伏している。前任の武蔵会二代支部長の館野房江六段…。そして今館二代支部長の館野房江六段…。そして今館二代支部長の館野房江六段…。そして今館二代支部長の館野房江六段…。

お人柄紹介に登場した佐藤敬子六段である。ご本人は東京大会でも高段者の部で活躍したが、『《勝敗の結果》より、開始線に始まり開始線に戻る試合終了までの“所作と技”は見事である。この『気力と心意気』から生まれる凛々しさからは、年齢を感じさせない。素晴らしい“生命力”を感じることが出来る…。

【本部 広報部】